

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

平成30年11月30日発行

No. 11

文責：校長 野口 裕



三泗小学校音楽会 ～素敵な合唱と合奏を発表してきました！～



11月17日に三泗小学校音楽会に学校の代表として4年生が出場しました。今年は文化会館の工事の関係で土曜日の開催になってしまい、保護者の方にはご不便をおかけしました。午後の部には、市内の13校が参加し、どの学校も素敵な発表をしてくれました。13校のうち、4年生が出場したのは羽津北小も含め6校、残りの7校は5・6年生でした。5・6年生の発表は、さすが上級生という迫力のある合唱でしたが、羽津北小も4年生らしい一生懸命な合唱・合奏ができて、とても好感が持てました。舞台では、少し緊張している様子でしたが、学校での練習の成果を十分発揮してくれたと思います。

発表は4番目でしたが、発表後、他の学校の合唱をずっと聴いているのは少し4年生には苦しかったようです。しっかり聴けていた人もたくさんいましたが、時間を持て余してしまう人がいたのが少し残念です。文化会館という素晴らしい場所で経験できたことをこれからの学校生活にも活かしてほしいと思います。4年生の皆さん、お疲れ様でした！



登下校の荷物は何れくらいの重さ？～ランドセルの中身は多い？～

先日、登下校時の荷物についての調査があり、各学年4名ずつ無作為に選んで量ってみました。合計24名の平均は約4.7kg(ランドセル・水筒などその日の持ち物すべて)でした。一番軽かった人は2.3kg(6年生)、重かった人は6.2kg(5年生)でした。

ランドセルの重さは、素材など軽量化されていても大きくなっていますので昔とあまり変わらないようです。主なランドセルの中身は、教科書、ノート、ドリル、プリント、筆箱などです。教科書は、B5サイズからA4サイズに大きくなり、さらにページ数も増えて重さは1.3倍くらいになっています。その他にも必要な持ち物が増えてきています。一般的に、体に負担をかけない重さの目安は、体重の20%以下が望ましいようで、体重20kgの児童だと4kg以下がいいということになります。平均約4.7kgのランドセルは、体格も個人差がありますので中には負担に感じている児童もいるのかもしれませんが。

学校では、中身を少しでも軽くするための工夫として「置き勉」について今までも取り組んできていますが、「置き勉」の量を増やした時の保管場所の確保や宿題など家庭学習の内容どうするのかなど、子ども達の学校生活全般で支障の無いように負担を減らすにはどうすればいいのかこれから



も考えていきたいと思えます。近い将来、教科書もデジタル化され、持ち物はタブレットだけという時代が来るかも知れませんが・・・。

ランドセル豆知識①「ランドセルはいつから使われている？」 明治20年に当時の首相伊藤博文が軍隊用の箱型リュックを基にした通学かばんを後の大正天皇の入学祝として献上したのが始まりとされています。戦前は高級品でしたが、戦後一般に広まったようです。

ランドセル豆知識②「背負い方にコツはあるの？」 背あて部分と背中が密着している方が背骨とランドセルの重心の距離が短くなり、背負う力が少なくて済むそうです。また、重いものは背中に近く、そして上に入れた方が、軽く感じるそうです。試してみてくださいはどうか？

マラソン記録会 ～晴天の中、みんな頑張りました！～



数日前の天気予報では、28日だけ雨が降る予報でしたが、羽津北の子ども達と先生方の気持ちが雨雲を吹き飛ばし、爽やかな晴天の下マラソン記録会が行われました。どの学年もそれぞれのペースで走りきり、最後のランナーにも温かい声援を送っていた姿が印象的でした。

また、多くの保護者の皆さんにも温かい声援をいただき、子ども達もいつも以上に張り切ることができたようです。PTAの皆さんにも立哨などお手伝いいただき、ありがとうございました。

けやきっ子十か条③ ～第7条・第3条・第6条について～

児童会と連携して、毎月の生活目標を「けやきっ子十か条」の中から選び、全校児童に呼びかけてもらっています。9月には第7条を、10月・11月には第3条と第6条の内容を組み合わせ、「相手を大事にして、人の話をしっかり聞こう！」という生活目標に決めてもらいました。その月の目標を達成するために、児童会ならではの取り組みをそれぞれ工夫してもらいました。

第7条 「忘れ物をしないよう気をつけます。」

『忘れ物をする事で一番困るのは「自分」です。自分のために忘れ物をしないよう確認することは大切なことです。』ということを指導しています。誰でも忘れることはあるものですが、次の日の用意を自分でできることは人として成長する中で基礎となることです。児童会の取り組みのおかげで宿題や忘れ物がずいぶん減ってきています。低学年の間は保護者の方のご協力が必要かと思いますが、小学校の間には是非身に付けてもらいたいことの一つです。ご家庭での見守りもよろしくお願いいたします。

第3条 「人の話をしっかり聞きます。」

『先生に教えてもらって新しいことを学べたり、友だちの話を聞いて楽しい気持ちになったりします。話を聞くことで、周りの人の気持ちや思いを知ることができ、自分自身がとても成長していきます。』ということを大切に指導しています。取り組みのおかげで、運動会や集会のときに話す人を見て集中して聞ける人が増えてきました。また、人の話が聞けるということは、人間関係をつくる時にもまず必要なことだと考えます。自分の思いを伝えることも大切ですが、それを受け止めてくれる周り(仲間)があってはじめて伝わるのではないのでしょうか。そんな優しさがあられる集団になってほしいと思えます。

第6条 「自分のことも友だちのことも大切にします。」

『自分のことを大切に思い、人の役に立った、人から感謝されたなどと自分が認められる評価を受けることで「やる気や意欲(自己有用感)」が高まり、自信をもって行動できるようになります。更に、周りの人も大切に思い、感謝し、認めることができる子ども達になってほしい。』という思いを込めて指導しています。修学旅行や自然教室、学年の行事など集団で活動するとき、互いの大切さを認めることで「やる気や意欲(自己有用感)」が高まり、その後の活動に活かすことができます。また、安心して学校生活を送れるよう私たち教職員も、子ども達のいい部分を肯定的にとらえ認める言葉がけをたくさんして、子ども達同士が「つながる」ことができるよう温かい雰囲気をつくっていききたいと思えます。

